一般社団法人香川県卓球協会　臨時理事会

日時：令和８年８月２９日(土) 10:00～
会場：坂出市立体育館　会議室

事務局より定足数の報告　理事・監事２４名中１７名の出席により本日の理事会は成立する
欠席理事：川口裕、松山、川西、蓮井優、鈴木
欠席監事：真鍋、近藤

１　会長あいさつ
・今回の臨時理事会では主に，全日本選手権（ジュニアの部）への特別推薦について審議していただく。

２　審議事項
（１）全日本卓球選手権大会（ジュニアの部）への特別推薦について
樽井　陸(イトウ TTC)　当該大会の県予選会(9/12)の日に WTT ユースバンコク(9/8～9/13)への日卓協からの派遣により予選会に参加できない　→　県協会の特別推薦で出場を認めて欲しい
①樽井　陸の主な戦績
・全日本卓球選手権大会（カブの部）２連連続優勝
・全日本卓球選手権大会（ホープスの部）　2025 年度　ベスト１６
2026 年度　第３位　→　全日本カデット１３歳以下の部への無条件出場資格
・全日本卓球選手権大会（カデット１３歳以下の部）　2025 年度　ベスト１６
・東アジアホープス卓球大会日本代表選考会　第３位
→　日本代表選手に選出（2026.12　中国の上海で開催予定）
・HNT-U12 の選手（2025 年度、2026 年度）
②全日本卓球選手権大会（ジュニアの部）の日本卓球協会推薦枠
・2025 年度全日本カデット１４歳以下の部　ベスト８
→　和泉　湧久（イトウ TTC）７位、　１３歳以下のランク選手は適用外
・NT 及び JNT 選手が国際大会等により予選に参加できない場合は、日本卓球協会が別途推薦するが、HNT は対象外
③香川県卓球協会の推薦規程
・内規（別紙）に国スポの推薦選手の規程はあるが、全日本卓球選手権大会等については存在しない
・全国大会のランク選手は推薦出場となるので、県独自の推薦規程は本来必要ないが、今回はカテゴリーが違うため、希なケースである
④今年度の香川県出場枠
・男女シングルス各３名と全国大会開催枠各１名の合計男女各４名
・今年度からジュニアと一般の分離開催となり、これまでより１名増枠となった

→　日本卓球協会強化本部規程第３６条（予選免除）でいう国際大会とは、世界選手権やアジア大会等である。今回の WTT は日本卓球協会からの派遣であるが、この予選免除には該当しない（強化本部の決定事項）。
また、県協会としては、カテゴリーの違いもあり、県出場枠を削ってまでの特別枠としての推薦出場を認めることはできない。

（２）内規の改定について
内規の３．その他に、このような場合の審議方法について追加するべきか？
⑩　全日本卓球選手権大会の県予選会当日（移動日を含む）に、日本卓球協会（全国高体連）主催の合宿・海外遠征等により参加できず、大会要項の無条件出場資格にも該当しない場合は、企画委員会で審議し、会長の承認を得て推薦選手とする。
→　国スポの予選と違って、前年度大会のランク選手は無条件出場が認められているので、特別に追加する必要はない。

３　周知事項
（１）四国卓連理事会決定事項（詳細については、次回の理事会で）
①全国大会主管県
・令和１４年度全日本卓球選手権大会（マスターズの部）　徳島県か愛媛県で
・令和９年度アスリートパスウェイ　ブロック大会　香川県
・令和１０年度西日本ホープス卓球大会　香川県
・令和１１年度全国高等学校選抜卓球大会　香川県
②令和９年度四国卓球選手権大会（カデットの部）について
・令和９年度全日本卓球選手権大会からジュニアとカデットの部となり１月開催
種目が男女シングルス１４歳以下のみに統一、ダブルスも廃止
→　四国カデットも全日本カデットに準じて１３歳以下を廃止し１４歳以下に統一
参加枠は各県男女各１６名（開催県は２倍）
・香川県の対応
四国カデット予選を廃止し、全日本カデット予選と兼ねて実施する
第１回全国中学校卓球フェスティバル大会(11 月頃)の予選を新たに実施する
・全国中学校卓球フェスティバル大会は全国大会に出場したことがない選手を対象とする大会になるようだ。
・予選会の数を増やさず実施するためには、上記の対応で実施するしかない。

（２）全日本ラージボール卓球選手権大会の開催地の変更について
先月の熊本地震により熊本県での開催が不可能となり、徳島県が日程を変更して開催することになった。
日程：令和８年１２月２日（水）～４日（金）
会場：アミノバリューホール（鳴門県民体育館）

4　その他

（1）全日本社会人卓球選手権大会の役員・審判員の依頼

・役員・審判員が足りない（特に金曜日の審判員）ので，各カテゴリーや知り合いの中でお手伝いができそうな人に協力を要請してほしい。

議事録署名人

理事長　片岡雅治

事務局長　蓮井和智